

## 00 いま、間仕切壁を取り巻く3つの変化

2026年の前提

人が足りない

**477** 万人

建設業就業者数（2025年）  
ピーク時から約3割減

1997年の685万人がピーク。工種が多い  
工法ほど、人の手配が読みにくくなります。

人件費が上がり続ける

**14** 年連続

公共工事設計労務単価の上昇  
2026年3月適用分+4.5%

全国全職種の加重平均は25,834円。初めて  
25,000円を超えました。

資材も上がる

**約150**

建設資材物価指数（建築）  
2015年=100 に対する2026年  
の水準

石膏ボードは2026年6月出荷分から製品  
20%・カット加工費40%の値上げ。

工種が多く、工期が長く、現場での加工が多い工法ほど、この3つの影響を強く受けます。